

有限会社 でんぱた

東日本大震災の風評被害の払拭と海外輸出を目標として、令和2年にGLOBALG.A.P.、令和4年にはJGAPを取得。GAPの推進や認知度向上に向け、消費者の信頼確保に取り組む。

代表者名：鈴木 正美

所在地：福島県東白川郡矢祭町

認証：GLOBALG.A.P.(R2)、
JGAP(R4)、ふくしま県GAP(R3)

面積：3.7ha

構成員：4名

品目：米、ブルーベリー

取組の紹介

【生産工程管理の改善に向けた取組】

- 出荷物の残留農薬検査や水質検査に加え、交差汚染を防ぐことを目的に農薬や肥料等の整理整頓を徹底することで、食品の安全性を確保。
- 作業ルールや危険箇所等の掲示、安全に作業を行うための講習会の受講等により、農作業事故の発生防止に努める。

【生産効率向上に向けた取組及び効果】

- 無人田植機や農薬散布ドローンの導入により、作業の時間短縮・効率化だけでなく、均一な施肥が可能となり高品質の米づくりが可能に。

【経営改善に向けた取組及び効果】

- 県南地方で先行してGLOBALG.A.P.を取得したことに加え、GAP認証農産物のPR活動等を継続的に実施したことがきっかけとなり、アメリカへの米の輸出を実現し、販路を開拓。

【地域内外への波及効果】

- GAP認証農産物の販売促進活動や交流会の開催に加え、自身のGAPの取組を掲載した広報誌等を地域の生産者に配布することで、GAPの認知度向上に貢献。



清掃ルールの掲示(左)、
農薬保管庫の様子(右)



無人田植機の様子



アメリカのスーパーに陳列されたお米

ホームページ・SNS等

でんぱたホームページ <https://denpata.com/>